




社会貢献活動（地域ボランティア活動）の実施報告

（一社）北見林業土木協会

活動内容	「神の子池」に至る林道にカーブミラーを設置
1 実施年月日	： 平成28年6月7日
2 実施場所	： 北海道斜里郡清里町 網走南部森林管理署管内 ハトイ札弦川林道
3 参加会員数	： 8企業及び事務局 延べ14人
4 活動内容：	<p>網走南部森林管理署は道東の約14万haの国有林を管轄していますが、知床国立公園、阿寒国立公園等に属する原生的な自然環境や森林を維持管理しています。</p> <p>清里町の南部に位置する「神の子池」は、その南にある摩周湖の伏流水が湧き出ていると言われ、摩周湖がアイヌ語でカムイト＝神の湖と呼ばれてきたことから、「神の子池」と呼ばれています。この池は、周囲220m程度の小さな湖ですが、透明度の高いブルーの湖水の中に倒木が沈み、最近では神秘的な観光スポットとして観光客が増加しています。また、周辺は「神の子風景林」に指定されています。</p> <p>この「神の子池」に到達するには、ハトイ札弦川林道を約2km走行する必要がありますが、林道はダートでカーブも多いので、観光客の交通安全に資するため、当協会ではボランティアで森林管理署が購入していたカーブミラーの設置を行うこととしました。</p> <p>作業当日は、天候にも恵まれ、渡辺会長が今回の作業の主旨と安全作業を呼びかけた後、和佐森林管理署長からも感謝を込めてご挨拶をいただきました。</p> <p>その後、手分けして、5基のカーブミラーを設置し、既設のカーブミラーの清掃を行いました。夏の観光シーズンに向けて、観光バスやマイカーなどで「神の子池」訪れる観光客の交通安全の確保に、これらのカーブミラーが役立つくれることと思います。</p> <p>なお、このボランティア活動の様子は、北海道建設新聞と北海道通信に掲載されました。</p>
活動写真・報道	
	 <p data-bbox="691 1559 898 1585">神秘的な「神の子池」</p>
	  <p data-bbox="635 1973 946 2000">カーブミラー設置作業の状況</p>